

# 「防災とボランティアのつどい in 愛媛」 ～結果概要～

- 日時:平成31年1月27日(日)13:00～17:00
- 会場:ひめぎんホール(愛媛県県民文化会館)
- 目的:近年発生した多くの災害で、被災地などのボランティア活動に関わった方々等が一堂に会し、これからの防災・復興や、連携・協働の取組を考え、交流し、つながる機会として「防災とボランティア in 愛媛」を開催した。
- 主催:内閣府、防災推進国民会議      ○共催:愛媛県      ○協力:日本防災士会
- 出席者:約250名      ※ご来賓:岡原 宇和島市長、二宮 大洲市長、管家 西予市長
- プログラム:

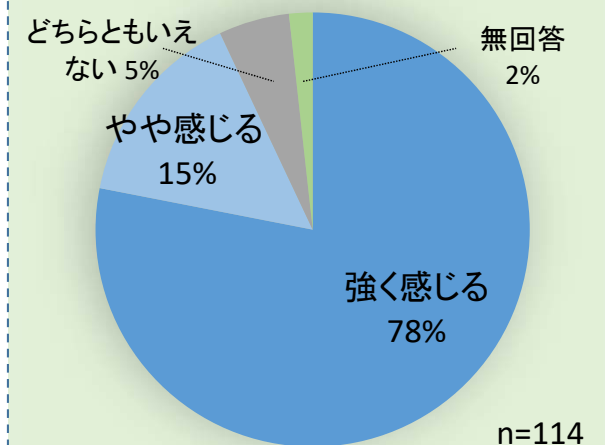
- ・開会挨拶(山本 内閣府特命担当大臣(防災)、中村 愛媛県知事)
- ・セッション1<全国セッション>:『防災における行政・NPO・ボランティアの三者連携のフロンティア』
- ・基調講演:『被災者支援と多職種連携－災害復興法学と「知識の備え」の防災教育－』(岡本弁護士)
- ・セッション2<愛媛セッション>:『愛媛県における「防災とボランティア」』
- ・閉会挨拶(米澤 内閣府大臣官房審議官(防災担当))

【開会挨拶:山本大臣】災害が頻発する中、災害と共存していく覚悟が必要であり、行政・NPO・ボランティアの連携や、防災意識社会の構築が必要。

【全国セッション】行政・NPO・ボランティア等による三者連携のあるべき姿について、全国の先進団体が、近年の災害事例を踏まえて議論。

【愛媛セッション】西日本豪雨時の愛媛県におけるNPO、ボランティア等の活動状況を振り返り、今後の課題や取組について議論。  
大臣の総括コメント「公助と連携した共助のための仕組が情報共有会議であり、その全国展開が重要。」

<参加者アンケート>三者連携の必要性





山本大臣挨拶



愛媛県知事挨拶



会場の様子



セッション1<全国セッション>



セッション2<愛媛セッション>



セッション2<愛媛セッション>山本大臣コメント